



## 練馬区農の学校

### 「収穫祭」の開催と新たなねりま農サポーターの誕生！

と き	11月29日(日)午後1時30分～4時	ところ	練馬区農の学校(高松1-35)
-----	---------------------	-----	-----------------

29日、練馬区農の学校(高松1丁目)で、農作物の収穫実習を行った。この日は、「中級コース」、「初級コース(秋冬期)」の受講者が講師の指導のもと、農作物の収穫方法などを学んだ。

中級コースで学んでいる黒田江理子さんは、「これまで大切に育ててきた野菜を収穫できることは嬉しい。農の支え手として商品になるよう丁寧に収穫することを心掛けた。」と話してくれた。

また、同日行った収穫祭では、受講生が、収穫した野菜を使って、料理を振る舞う場面も。クラムチャウダーやしりしりなど、新鮮野菜の素材を活かした料理に参加者は大喜びだった。

なお、この日は「初級コース(秋冬期)」の修了式も行い、受講生へ認定証が交付された。新たに5人の「ねりま農サポーター」が誕生した。

修了証を交付された受講生の男性は、「中級コースに進み、しっかりと農業技術を身に付け、農家さんのお手伝いをしていきたい。」と意気込みを語ってくれた。



収穫実習の様子



修了式の様子

#### 【練馬区農の学校(高松1-35-2 敷地面積約3,699㎡)】

平成27年3月開校。農家の高齢化や後継者不足などに対応するため、農に関心を持つ区民の中から農業者を支える人材を育て、人材が活躍する場を提供する。研修用圃場やビニールハウス、事務棟を設けている。



【練馬区農の学校全景】

#### 【ねりま農サポーターとは】

「練馬区農の学校」の所定のコースを修了した受講生を「ねりま農サポーター」として認定し、農業者の支え手として活動するとともに、区内農業イベントの手伝いを行う。現在19人を認定。今後は、中級コースの受講生6人を認定する予定(講習最終日12月13日)。

#### 【区独自の取組 ねりま農サポーターと区内農業者との“マッチング”】

「ねりま農サポーター」と区内農業者とのマッチングは順調に進んでおり、区内農業者のもとでじゃがいも掘りやキャベツの植え付けなど支え手としての活躍を開始している。

#### 【「ねりま農サポーター」が協力する予定の区の農業イベント】

練馬大根引っこ抜き競技大会(12月6日開催)での協力を予定している。